

民報 ゆうばり

総選挙で、原発ゼロの日本を！

夕張労連、旗びらきで「放射能の体内被曝」について学ぶ

原発をなくす運動の取組みを強めよう！

春闘の重要課題として

1月29日夕張労働組合総連合は年明け恒例となつている「旗びらき」を開催、各加盟団体から10数名の参加者があり、春闘の情勢と放射能被害を収束できない福島原発の問題点を学習し討論しました。

主催者代表の挨拶をした筒井勇治議長は、「東日本大震災から間もなく1年を迎えようとしている原発問題について、時間の経過とともに、脱原発の世論が弱ま



挨拶する筒井議長

来賓挨拶に立った共産党市議のくまがい桂子さんは震災復興の遅れを気遣いながら、とりわけ福島原発の教訓を曖昧にしてはならないと強



挨拶するくまがい市議

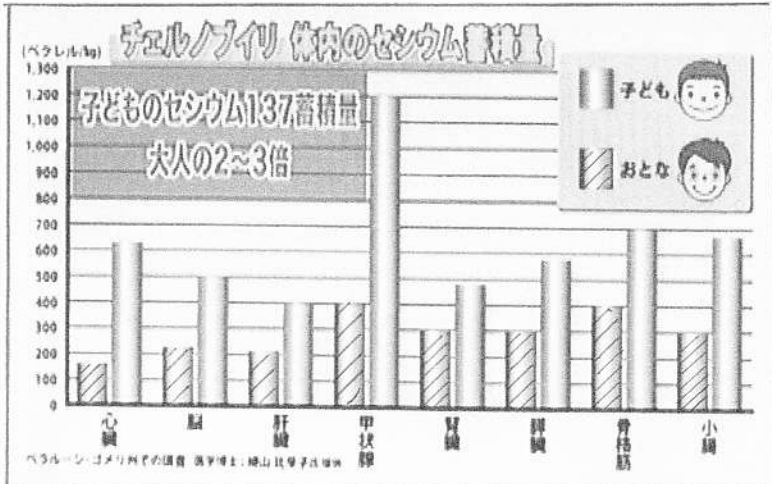
原発ゼロ実現のため総選挙での勝利を！

調しました。そして、野田政権が打ち出した政策が被災者にとつていかに過酷な事かを述べ、2大政党制が崩れていく情勢のなか、総選挙での前進がどうしても必要だと訴えました。

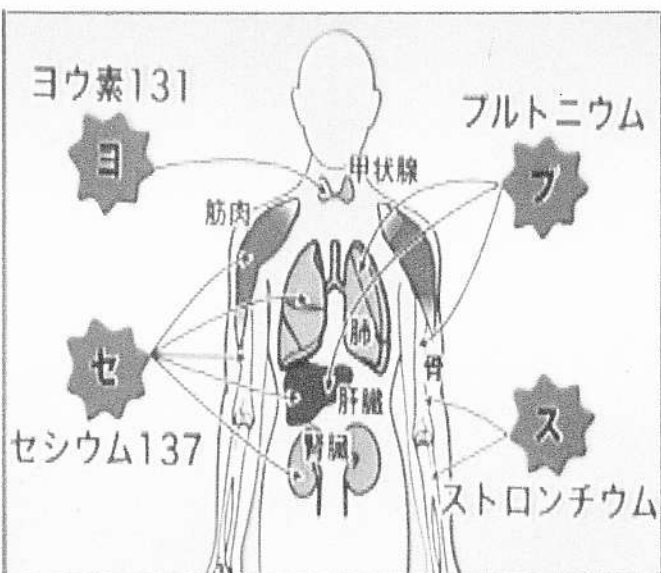
集会では例年は春闘情勢討論が中心でしたが、今年は福島原発の放射能汚染についてより深く学び、原発ゼロの運動を確実に進めようと、体内被曝についてDVDを使った学習討論の時間をとりました。

体内被曝の想像絶する危険性

東京大学アイソトープ総合センター長の指摘は被曝の実態を科学的見地から解き明かし、「僅かな体内被曝であっても絶対に放



↑チェルノブイリ原発事故で、体内のセシウム蓄積量の資料
←体内被曝で、人体の細胞を破壊してがん細胞となる危険性あり



射線は人体の細胞を破壊すると同時に、放射線が細胞内のDNAを直接破壊して、突然変異をおこし癌細胞となる場合や、放射線が水分子を壊して活性酸素を作りだし、その活性酸素が細胞に悪影響を与える」ということを証明しました。

また、1986年のチェルノブイリ原発事故では小児の白血病や甲状腺癌がそ

の周辺地域で急増し、悲惨な様相を呈したことなど、放射能の深刻さを改めて学びました。

食材は、汚染されていないか？

参加者の発言で、学校給食の食材が汚染されていないかと心配する父母の心境を紹介し、「放射能測定器の配備を関係する所へ全て配置すべきだ」とその緊急性を指摘していました。



避難母子と家族、夕張へ招待！

…夕張出身者のチャリティライブで…

1/14小樽でのチャリティライブ

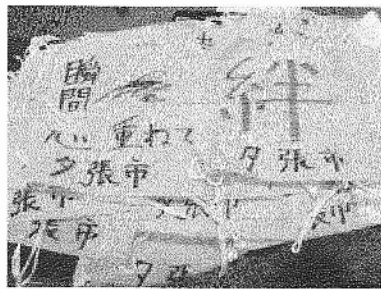
無料招待の収益で、昨年12月には「Reborn・再生」を主宰する佐藤さんが夕張出身ということもあり、札幌在住のみなさんの大きなご支援で、ゆうばり再生市民会議福祉分科会主催のチャリティライブを

2月29日から3月5日、夕張マウントレイスイホテルで、旭川に避難中の母子と被災地で頑張っているご家族が、夕張で再会を果たすことになりました。

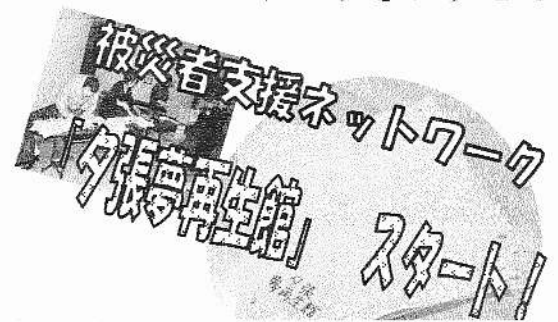
この取り組みは、ゆうばり再生市民会議の被災者支援プロジェクト「夕張夢再生館」の協力団体である「Reborn・再生」と、夕張出身者で結成しているバンド「WISH SIDE」のメンバーらが中心となって開催した、被災者支援チャリティライブ「LOVE & WISH (小樽1/14、札幌1/20) 2会場」の収益で、昨年12月には「Reborn・再生」を主宰する佐藤さんが夕張出身ということもあり、札幌在住のみなさんの大きなご支援で、ゆうばり再生市民会議福祉分科会主催のチャリティライブを

「幸福の黄色いハンカチ」被災地へ！

「幸福の黄色いハンカチ」被災地へ！



開催しました。冬物衣料とともに、夕張市民のメッセージを書いた「幸福の黄色いハンカチ」50枚も被災地へ送りました。今後もう少しずつ継続して送る予定です。



ゆまがいの桂子の
あじふの日
ゆうばり再生市民会議プロジェクト
被災者支援ネットワーク「夕張夢再生館」スタート！



日本共産党 夕張市議
くまがい桂子

昨年12月東日本大震災、および福島第一原発の事故による被災者支援を目的に、「ゆうばり再生市民会議」内外のメンバーによるプロジェクトとして「被災者支援ネットワーク「夕張夢再生館」がスタートしました。

「被災者支援のために、物資だけでなく、もつと何かできることはないの？」「放射能を避けて一時避難しても、避難先では孤立して、大変らしいよ。」「夕張に来てくれれば、仲間作りのお手伝いはできるよね。」そんな話が発端でした。

「子どもたちへの放射能被害を恐れて、移住したいと思っている人はたくさんいる。農業をやりたい人は遊休農地を借りて…、自営業をやりたい人は夕張の空き店舗を借りて…」「介護の仕事なら求人はあるよ…」

「夕張体験・リフレッシュツアーに一度来てもらって、夕張のことを知ってもらって、移住したいと思った方には、できる限りの支援をするーそんなやり方はどう？」「いいね！」

「僕も、ぜひ、そういうお手伝いをしたいです！」ーそう言うてくれたのは、石巻から避難しているTさんでした。

夕張にとっても、子育て世代・現役世代の移住が少しでも実現すれば、活力をもたらす若い世代の人口増となります。

夢のような話を現実のものにしたい、夕張再生につなげたいーそんな想いでつけられた名前が「夕張夢再生館」です。

想いを同じくするたくさんの方々がネットワークでつながって、ながい道のりの一步を踏み出せるよう、心から願っています。